

健康福祉常任委員会

10 議案 可決

各種の福祉施策や子育て支援、高齢者支援、健康づくり、消防に関することなどの議案等を審査しています。

令和5年度行田市一般会計予算

○ひとり暮らし高齢者見守り事業

問 新規事業であるが、事業の内容は。

答 他者からの見守りのない75歳以上のひとり暮らしの高齢者に対し、週2回定期的な訪問を行うことで、身体や生活状況の確認と見守りを行うものである。変化等が見られた場合は、介護等の適切な支援へつなぐことで、安心して在宅生活を送ることができる。



健康福祉常任委員会委員

よつ実施するものである。

問 本事業はシルバー人材センターに委託するが、利用する場合に利用料はかかるのか。

答 利用者からの負担は求めないため、無料で利用することができる。

問 子ども居場所づくり事業
問 本事業を拡充することのことだが、その積算根拠は。

答 子ども食堂事業を実施する団体に対して、開催回数に1万円を乗じて補助するもので、前年度の12回分から今年度は18回分に拡充し、計7団体を見込んで計上したものである。

○放課後児童健全育成事業

問 建物改修工事請負費に関して、児童センター内にあるみずしる学童保育室を忍小学校校舎内に移設するが、その工事内容は。

答 忍小学校南校舎の1階東側に位置し、現在は教材等を保管している部屋を学童保育室として転用させるための工

事で、建具や門扉の改修、配線工事等を予定している。

○産後ケア訪問事業

問 本事業の委託先、訪問先の選定方法及び他の事業との連携は。

答 個々の助産師と委託契約を結ぶもので、訪問先は利用希望者の申請に基づくものである。本事業は、専門的なケアを直接的に提供するものであり、安心・安全な育児が行えるよう、既存の母子保健事業と連携して実施するものである。

○災害現場中継システム整備事業

問 ドローンを購入することのことだが、どのような現場で活用するのか。

答 災害の現場で早期に状況を把握し、俯瞰的な視点から現場の指揮命令システムを確立するために使用する。また、複数の端末、ヘルメットカメラ等により、被害状況を多角的に捉えるなど、隊員の活動状

況や安全管理にも有効な手法であると考えている。

○消防車両更新事業

問 化学消防ポンプ自動車を購入するが、どのような性能で、どれくらいの規模の火災に対応するものなのか。

答 水で消化できない危険物等の火災に対して、薬剤での消火活動が行えるほか、大量の泡により消火する機能などを有しており、全ての規模の火災に出動可能である。

令和5年度行田市国民健康保険事業特別会計予算

問 高額療養費が前年度と比べて大幅に増えているが、その要因は。

答 高額療養費の計上については、コロナ禍で受診控えがあった令和2年度を除いた過去3年間の伸び率から推計している。また、高齢化による治療の長期化等のため、高額療養費に該当する方が年々増加していることが要因と考えられる。

令和5年度行田市介護保険事業費特別会計予算

問 緊急通報サービス事業について、委託先はどこか。
答 現在、株式会社エースに

委託している。

問 本事業のサービス内容に変更はないか。

答 大きな変更点として、現在、固定電話を設置している方への利用となつていないが、固定電話を設置していない方についても利用できるよう見直す予定である。

行田市障害者福祉センター条例を廃止する条例

問 本条例の廃止に当たり、行田市手をつなぐ育成会をはじめ、関係団体等との協議は行ったのか。

答 行田市手をつなぐ育成会には、障害者福祉センター廃止の理解を得ている。また、保護者の方に関しても、同センターの今後の方針や安心して施設の移行ができるような支援等に関して、説明会を実施している。



障害者福祉センター